

令和2年4月吉日

利用者・家族の皆様
関係機関の皆様

新型コロナウイルス感染症への対策のお知らせとお願い・第2弾

公益財団法人日本訪問看護財団立
あすか山訪問看護ステーション
統括所長 平原 優美

拝啓

平素から、あすか山訪問看護ステーションをご利用いただきありがとうございます。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染者の急増による不安や生活制限の長期化により大変なストレスを抱えておられることと思います。これまで、皆様には、ご利用者様・ご家族様、職員が新型コロナウイルス感染症に罹患しないように、ご協力いただいてまいりました。

東京都の状況から今後、更に感染予防を強化していく必要を感じ、以下の点においてご理解のうえ、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

1. 訪問看護の前には窓を開けて換気をお願いいたします。

なるべく密閉空間となることを防ぐために、訪問看護師やリハビリ職員が訪問する前と、訪問中は窓を開けさせてください。特に風は効果的で、1分間、換気をすると室内の空気は9割交換できます。

2. 訪問看護、訪問リハビリ中はできたらマスク着用をお願いします

どうしても、会話をし、ケアやリハビリテーションをさせていただくには、近距離となってしまうと、お互いにマスクをしていると感染のリスクが下がります。

3. 職員は、「感染させない・もらわない」ためにガウンや手袋、ゴーグルをして訪問します。

東京都内は、感染経路不明者が増え、いつだれが感染していてもおかしくない状況になっています。利用者様、ご家族様と職員が、双方にウイルス感染しないように、職員はしっかりした装備をさせていただきます。より、安心してケアを受けていただくための対策です。

次項裏面の写真のように、玄関で、着用させていただきます。



ただし、外出支援やリハビリのための自宅外の散歩等では、ガウンではなく、当財団のロゴ入りのブルゾンなどで代用したいと思います。

重々しい装備に、ご不快なお気持ちになられることかと思いますが、なにとぞご理解、ご協力のほどをお願いいたします。

以上